ログイン認証

JSPの作成



作業目次

1) JSPの作成

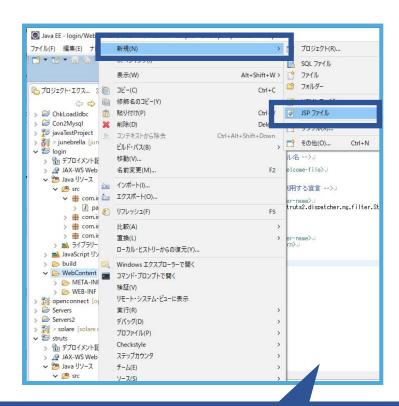
1: loginJSPの作成

2: loginSuccessJSPの作成

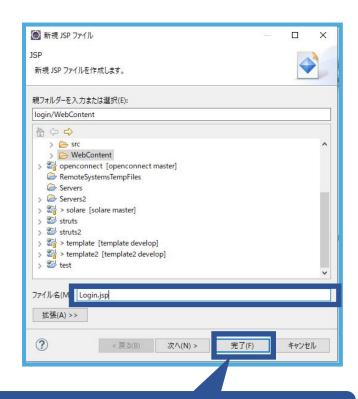
3: loginErrorJSPの作成

ログインJSPファイルの作成

1 ログインJSP



① 「プロジェクト」「WebContent」を選択し、 「右クリック」「新規」「JSPファイル」を選択し ます。



② 「名前(M):」欄に「login.jsp」 を入力し、完了ボタンをクリックします。

JSPファイルの作成

③ 以下の内容を写経します。

```
login.jsp(jspファイル)
< \@ page language="java" contentType="text/html; charset=UTF-8" pageEncoding="utf-8" >>
<%@ taglib prefix="s" uri="/struts-tags"%>
<!DOCTYPE html>
                                         S:タグとは、strutsフレームワークで使
<html>
                                         える専用のHTMLタグです。
<head>
    <meta charset="utf-8">
    <title>ログイン画面</title>
</head>
                          <form>タグとしてブラウザが認識します。
<body>
    <s:form action="LoginAction">
        <s:textfield name="name"/>
        <s:password name="password"/>
        <s:submit value="ログイン"/>
    </s:form>
</body>
</html>
```

JSPファイルの作成

<s:form>

「<s:form>」で囲まれたタグに入力された情報が「action=""」で指定した「Actionクラス」へ渡されます。

```
<s:form action="LoginAction">
        <s:textfield name="name"/>
        <s:password name="password"/>
        <s:submit value="ログイン"/>
</s:form>
```

くinput>タグ「type="text"」「 type="password」「type="submit"」 としてブラウザで認識します。

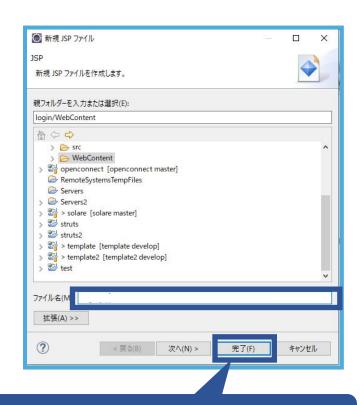
name属性の情報とActionクラスのフィール

ログイン成功JSPファイルの作成

2 ログイン成功で呼ばれるJSP



① 「プロジェクト」「WebContent」を選択し、 「右クリック」「新規」「JSPファイル」を選択し ます。



② 「名前(M):」欄に「loginSuccess.jsp」 を入力し、完了ボタンをクリックします。

ログイン成功JSPファイルの作成

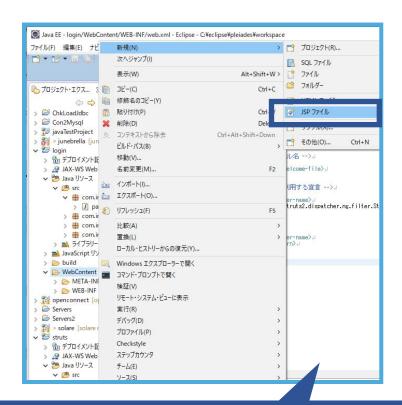
ログイン成功で呼び出される JSPファイルです。

③ 以下の内容を写経します。

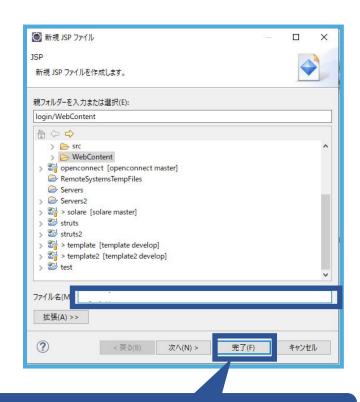
loginSuccess.jsp(jspファイル)

ログイン失敗JSPファイルの作成

3 ログイン失敗で呼ばれるJSP



① 「プロジェクト」「WebContent」を選択し、 「右クリック」「新規」「JSPファイル」を選択し ます。



② 「名前(M):」欄に「loginError.jsp」 を入力し、完了ボタンをクリックします。

ログイン失敗JSPファイルの作成

ログイン失敗で呼び出される JSPファイルです。 ③ 以下の内容を写経します。

loginError.jsp(jspファイル)